

雨粒の調へ

Concept

雨が降り始めれば、音楽が始まる。
 雨水が流れ、雨粒が落ち、音生まれる。
 雨が創り出す、唯一無二の音楽。
 雨の日を安らぎの日にしよう。たとえ、雨が止み、音楽が
 終わってしまったとしても、その静けさの中、微に残る
 水滴の落ちる音を楽しむ事も、音楽なのではないだろうか。

○ここから雨水を
 集めて雨水達は
 パイプ管という長旅へ……

○音を楽しみながら、本を楽しむ
 これ以上の安らぎはあるのだろうか。

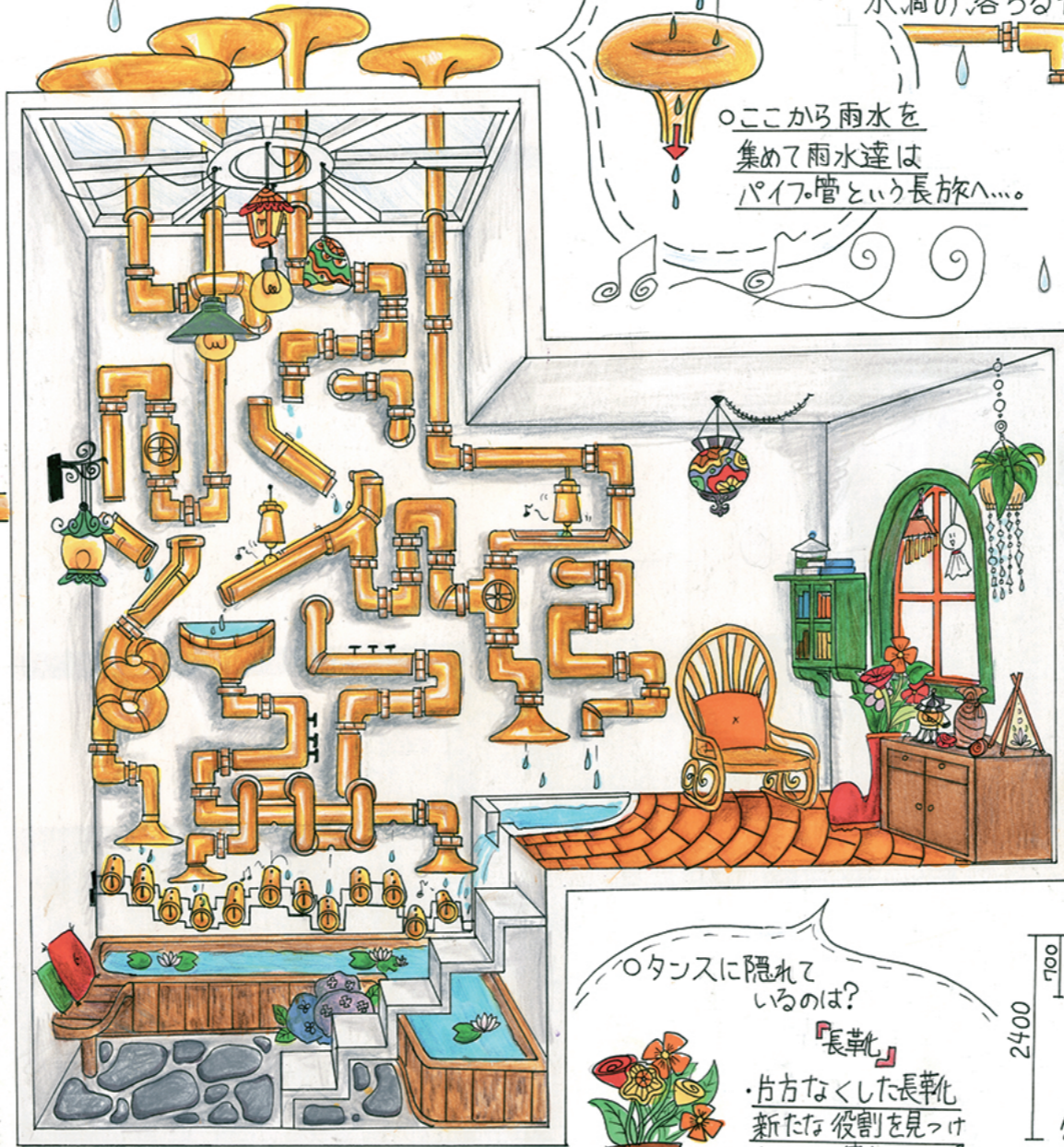
○このフロアは
 雨が強い時などに
 少し離れて
 遠くを囲む
 楽しむ。

○パイプ管を変えて、
 音に新たな新鮮さを求めよう。

○この空間では
 和を感じられる
 小雨の時など
 この空間で
 楽しむ。

○パイプ管が鉄琴の
 ような役を果たし、
 雨水が落ちる事で
 美しい音色を奏でる。

○タンスに隠れて
 いるのは？
 『長靴』
 ・片方なくした長靴
 新たな役割を見つけ
 大切に使われている。



A-A¹ 断面図 S=1:20

